

1. 趣 旨

地域の支援現場では、障害の有無に関係なく、希望や能力、適性等に応じて活躍できる社会の実現に向けた多様な取組・工夫が行われていますが、明確に言語化されていなかったり、いまだ各組織・地域限定で全国的には共有されていないものも多くあると考えられます。

そこで、障害者職業総合センター研究部門（社会的支援部門）では、地域の多様な機関・職種の方々の障害者就労支援の効果的な支援ノウハウを収集・分析し、「障害者就労支援の効果的な支援ノウハウ集（仮）」を作成して幅広い関係者に提供し、もって①地域の関係機関の支援力の底上げを図るとともに、②障害者就労支援に関わる多様な機関・職種の役割や強みの理解に基づく連携促進にも資することとしています。

2. 募集内容

今回募集する「障害者就労支援の効果的な支援ノウハウ」とは次のようなものが想定されますが、これらに限らず、様々な視点からの支援ノウハウのご応募を歓迎します。

- 障害者が就職前から就職後に直面しうる職業的課題の解決・軽減につながっていることを支援現場において確認できている支援、取組・工夫等
- 障害や問題点への対応だけでなく、雇用企業の経営・雇用管理への効果、障害・疾患管理の改善、職業人としての活躍、生活・経済的自立等、職業準備、就職、就業継続、キャリア発達等、障害者の職業生活の質の向上につながる、取組・工夫等
- 障害者本人、家族、企業・職場、地域関係者等のいずれか、あるいは複数に対して有益な支援、取組・工夫等
- 様々な局面での支援、取組・工夫等：就労情報提供、強み・興味の把握、就労・生活の一体的相談、職業評価、障害理解・対処・家族支援、自己管理支援、企業ニーズの把握、職場相談対応、フォローアップ、就職後も継続する職場と本人の支援、組織や地域の体制変革や人材育成等

※別紙「[障害者就労支援の効果的な支援ノウハウ集（イメージ）](#)」もご参考にしてください。

3. 応募いただきたい方

- ハローワーク、地域障害者職業センター、障害者就業・生活支援センター、就労移行支援事業所、就労定着支援事業所、就労継続支援A型事業所、就労継続支援B型事業所、特例子会社、企業等で、障害者就労支援を専門としている方はもちろん、より広い意味で「障害者の職業生活の支援」に関わる医療・福祉・教育等の機関・職種からのご応募もお待ちしています。
- 障害や難病のある方の就労支援で何らかの効果を実感し、支援者としての貢献、能力発揮、成長を経験されている方の支援ノウハウは、他の支援者にも貴重なものと存じます。

4. 応募方法・期間

以下の Web ページからご応募下さい。

<https://nivr.svy.ooo/ng/answers/ws2021.html>

応募期間：令和3年8月18日～令和3年10月15日

5. 留意事項

- 無記名回答であり、ご応募内容についても個人情報を含めないものとします。
- ボランティアでのご応募をお願いしております。ご応募への謝金等は一切ありません。

6. 問い合わせ

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 障害者職業総合センター研究部門
（担当：社会的支援部門 堀・春名） メール：ssdiv@jeed.go.jp
電話：043-297-9028（土日祝日を除く：9:30 - 17:15）